

8-6-3 CPD委員会

1. 主な活動の記録

(1) CPD 委員会の開催

委員会開催回数：11回

(2) 主な内容

平成29年度の委員会活動は主に、①「CPD監査」の実施と監査結果の分析、②CPD会員利用規約及びCPD認定プログラム申請者利用規約の改定とCPDシステムの運用、③協会会員のCPD取得支援の3点を中心に委員会活動を行った。

a) CPD 監査の実施と監査結果の分析

CPD記録登録者の1%程度を目途に200名を対象として監査を実施した。CPD記録登録状況のうち、分野別登録状況では専門技術分野が77%を占めており、昨年度の75%よりさらに偏りが大きくなった。形態別登録状況については、昨年に比べ自己学習他の比率が5%増加し、業務経験が5%減少するなど、教育プログラムの選択傾向に変化が見られた。

平成29年度監査における何らかの指摘、修正を要する総指摘数は208(総記録数の9.4%)と昨年度比率の17.5%に比べ減少した。また、取得単位に最も影響を及ぼす削除要求の比率は、総記録数2,223記録に対し0.9%であり、昨年度1.3%に比べ減少した。特に、新システム移行前の平成27年度監査では、「非認定プログラムの係数を「1」としている」が総指摘数に対し4.4%と多かったが、平成28年度以降、新システム導入により解消されるなど、申請記録の登録が概ね適正に行われていると判断できる。

b) CPD 会員利用規約及びCPD認定プログラム申請者利用規約の改定とCPDシステムの運用

CPDシステムの運用に際し、不都合の改善を図るため、CPD会員利用規約の改定を行った。

また、CPD認定プログラム申請手続きの有料化に伴い、CPD認定プログラム申請者利用規約の改定を行った。

c) 協会会員のCPD取得支援

協会会員のCPD取得を支援するため、DVDやWEB等のメディアを活用することにより、多くの会員に利用していただくことを目的に活動した。特に今年度は、①平成29年度マネジメントセミナー(東京会場)(6時間3分)、②平成29年度政策・事業評価専門委員会セミナー(2時間49分)、③環境専門委員会セミナー「北九州市における次世代エネルギー戦略の取組み」(2時間10分)、④交通・安全専門委員会セミナー「道路空間の有効活用に関する取組みと今後の展望」(2時間41分)のDVD4枚を作成し、会員各社に無料配布した。また、上記4セミナーの他、「道路専門委員会講習会東京会場プログラム 効率的な無電中化の推進に向けて」(1時間48分)を加えた5セミナーの録画動画について、協会ホームページ上で視聴できるようにWEB配信を行った。

(3) CPD 記録申請等

① CPD 記録申請者数

平成29年度：130,911人
平成28年度：119,353人
平成27年度：108,641人

② CPD 記録申請件数

平成29年度：360,500件
平成28年度：331,600件
平成27年度：315,100件

③ CPD 証明書発行件数

平成29年度：5,845件
平成28年度：5,362件
平成27年度：4,978件

2. 次年度の活動について

平成30年度の委員会活動は主に、①「CPD監査」の実施と監査結果の分析及びCPD監査の効率化に向けた検討、②CPD制度、CPDシステムの定着、③協会会員のCPD取得支援の3点を中心に委員会活動を行う。

(CPD委員会委員長 光森 泰紀)